

機械器具 51 医療用嘴管及び体液誘導管
一般医療機器 脳脊髄液ドレナージ回路 34586001

脳室ドレナージセット

再使用禁止

【警告】

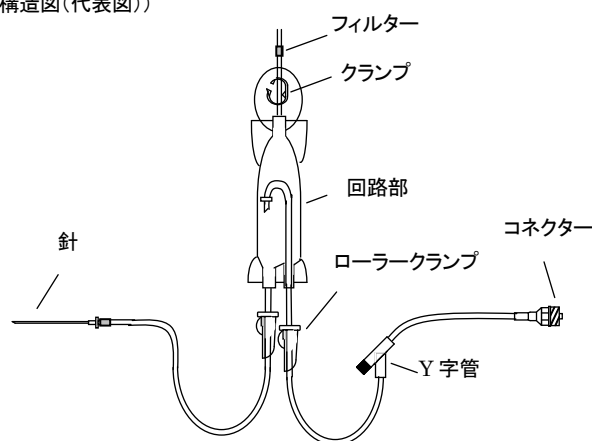
- ・カテーテル及びバッグに接続するチューブは、間違えないよう確実に行うこと。
- ・頭蓋内腔は感染に非常に弱い、無菌操作は厳重に行うこと。
- ・異常が認められた時は、速やかに使用を中止し適切な処置を施すこと。
- ・回路は、不用意に高さが変わることが無いように支持台にしっかり固定すること。
- ・回路の高さを変更する場合は、必ず医師又は医師の指示を受けた有資格者が行うこと。
- ・患者の移動時は、フィルター部が濡れないよう注意すること。クランプがある場合は、クランプを閉鎖すること。[フィルターが濡れるとサイフォン効果によりオーバードレナージを起こす危険がある。]
- ・フィルター部のクランプを閉鎖する場合は、先に接続チューブのローラークランプを閉鎖すること。また、患者の移動後等、ドレナージを再開する際は、必ずフィルター部のクランプを開放した後にローラークランプを開放すること。
- ・フィルターが濡れた場合は、速やかに回路の交換を行うこと。

【禁忌・禁止】

- ・再使用禁止
- ・本品を強酸、強塩基に類する薬剤及び有機系溶剤にさらさないこと。
- ・本品を鉗子等で強くつかまないこと。

【形状・構造及び原理等】

(構造図(代表図))



- ・図は代表例です。各部品の形状及び接続順序等は品種により異なります。構成部品は追加又は省略されている場合があります。
- ・チューブの途中に三方活栓や点滴筒が付く場合があります。
- ・本品はポリ塩化ビニル(可塑剤:フタル酸ジ(2-エチルヘキシル))を使用しております。

【使用目的又は効果】

脳脊髄液の排出のために留置されたドレーンチューブと接続するためのドレナージ回路である。

【使用方法等】

脳脊髄液の排出のために留置されたドレーンチューブと接続して使用してください。

〈使用方法に関連する使用上の注意〉

- ・接合部に薬液が付着すると嵌合部の緩み等が生じる可能性がありますので注意してください。
- ・使用中はコネクターに緩みがないことを定期的に確認してください。
- ・使用中は無理に引っ張ったり折ったりせず、注意深く丁寧に取り扱いってください。
- ・ドレーン中、未訓練者による製品の操作が行われないように管理を十分してください。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- ・患者の状態に応じた圧設定(回路部の高さ調節)が終了するまで、回路は閉鎖しておいてください。
- ・回路部は常に垂直に保ち、回路の途中に折れ曲がり等が生じていないことを確認してください。
- ・ドレナージ操作中は、設定した圧が患者の体動等により変化していないことを常に確認してください。
- ・患者を移動させる際は全ての回路を閉鎖した後に行ってください。
- ・三方活栓付きの製品に、油性の造影剤、脂肪乳剤、アルコール等を使用すると、三方活栓が破損する可能性があるので注意してください。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

- ・水ぬれに注意し、高温、多湿、直射日光、殺菌灯のあたる場所をさけて清潔に保管してください。

2. 有効期間

- ・滅菌後 3 年。(自己認証(当社データ)により設定)

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

〈製造販売業者〉 三矢メディカル株式会社

TEL 06-6707-9105